

ISSN 1881 - 980X

日本科学教育学会

Japan Society for Science Education

発行：吉田 淳

事務局：愛知教育大学理科教育講座 内

URL：<http://www.jsse.jp>

.....
2011.4.15

NO.202
.....

科学教育研究レター



目 次

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ■ 年会
第35回年会開催案内（第4次）.....2 | ■ 学会員の皆様へ
個人情報の変更届け出について.....7 |
| ■ 若手の会
第35回年会（東京大会）での会合.....4 | ■ 編集理事会だより
「科学教育研究」編集状況の報告.....7 |
| ■ 学会賞
2011年度学会賞候補者の募集.....5 | ■ 広報委員会からのお知らせ.....8 |
| ■ 研究会・支部だより
平成22年度第6回研究会
（東海支部担当）のご案内.....6 | |

第 35 回年会 開催案内 (第 4 次)

※ 最新情報は、年会 Web に随時掲載します。レター発行後も年会 Web の情報を更新していきます。こまめにチェックしてください。

<http://www.jsse.jp/jsseam/modules/note4/>

※ 東日本大震災に伴い、課題研究の申込締切を変更しています。

※ 電力の需給状況等から、発表機器や空調設備等の利用の制限や発表形態の変更がある場合も想定されますことをご了解下さい。

1. 年会テーマ

テーマ：次世代の科学力を育てる：社会とのグラウンディングを実現するために

趣旨：「次世代の科学力を育てる」というメインテーマは、現代の科学教育において重要課題であるため、第 33 回年会から引き継いでいます。今回の年会では、これまでの年会の成果を踏まえて、「科学力」を社会全体に根付かせること（グラウンディング）を実現するために求められる科学教育の諸要件について議論します。

2. 日程：2011 年 8 月 23 日（火）～ 25 日（木）（3 日間）

3. 会場：東京工業大学すずかけ台キャンパス

〒 226-8503 横浜市緑区長津田町 4259)

<http://www.sok.titech.ac.jp/>

4. 主催：日本科学教育学会（後援：文部科学省（予定））

5. 年会実行委員会

[委員長] 寺野隆雄（東京工業大学）

[委員] 吉川 厚（東京工業大学）ほか

6. 連絡先：〒 226-8502 横浜市緑区長津田町 4259-J2-52

東京工業大学 知能システム科学専攻

寺野隆雄研究室

Tel/fax 045-924-5583

JSSE2011-admin@trn.dis.titech.ac.jp

7. 内容：次の内容を予定しています。

(1) シンポジウム

テーマ：大人の科学リテラシー：その理想と現実（仮題）

趣旨：現代では子どものみならず、大人の科学リテラシーの欠如が問題となっています。大人の科学リテラシーは、生活や仕事を主体的にデザインするために現代社会では重要な機能を持っています。さらには、大人の科学リテラシーを高めることは、次世代を担う子どもたちの科学力を育成するための一つの基盤となります。本シンポジウムでは、大人の科学リテラシーをどのようなものとして想定すればよいのか、リテラシー向上を実現するためにはいかなるアクションを取らなければならないのか、などの問いについて、理想と現実を踏まえた議論を行います。

(2) 招待講演「科学教育研究セミナー」

特定の分野でアクティブに研究を進めている先生方をお招きし、会員向けに専門的なお話を聞かせて頂く招待講演です。

昨年学会賞受賞者でもある以下の 2 名の学会員に、それぞれご講演頂きます。

・大隅紀和先生（京都教育大学名誉教授）

・吉岡有文先生（元東京都立練馬高等学校教諭）

- (3) 課題研究
 昨年までの学会企画と自主企画を統合し、学会員から多様な研究テーマに関する企画を募集します。
 特定のテーマについて徹底的に議論できる場です。企画をお持ちの方は申込をお願いします。
- ※ 東日本大震災に伴い、申込締切を変更しています。
- (4) 年会実行委員会企画セッション
 生涯学習としての科学教育について、科学の学び直しのデザインを議論します。
- (5) 一般研究発表
 昨年までと同様です。
- (6) インタラクティブセッション
 昨年までと同様に、ポスター発表もしくは実演紹介の形態で、研究内容についてインタラクティブにじっくりと語り合う場です。
- (7) その他の企画：総会、懇親会、若手の会、各種会合など

8. 課題研究の申込

(1) スケジュール

これまでにご案内してきましたように、第35回年会の課題研究につきましては、3月末から4月にかけて申込締切を設定しておりました。

しかしながら、このたびの東北地方太平洋沖地震の深刻な影響を考慮し、以下の通り、締切を延長しました。震災に伴う各種の影響によって当初の締切までに申し込みが困難な場合には、変更後の締切までにお申し込みください。

なお、申込締切の延長に伴い、発表者の最終確定日から原稿提出期限日まで2週間という短い期間となっております。特に、企画受付時の発表者の一次確定後の筆頭発表者に変更がある場合には、十分に留意願います。

- 一次受付締切：【オーガナイザー → 年会企画委員会】(受付後、年会企画委員会から「課題研究申請用紙」「理由書用紙」を送付)
 - ・当初締切：2011年3月25日(金)
 - ・【変更後の締切(約1ヶ月延長)】2011年4月25日(月)
- 企画受付締切(発表者一次確定)：【オーガナイザー → 年会企画委員会】(「課題研究申請用紙」「理由書」提出)
 - ・当初締切：2011年4月18日(月)
 - ・【変更後の締切(約1ヶ月延長)】2011年5月18日(水)
- 受理審議期間：【年会企画委員会】
 - ・当初締切：2011年4月19日(火)～4月26日(火)
 - ・【変更後の締切(約1ヶ月延長)】2011年5月19日(木)～5月26日(木)
- 審議結果報告：【年会企画委員会 → オーガナイザー】
 - ・当初締切：2011年4月28日(木)
 - ・【変更後の締切(約1ヶ月延長)】2011年5月30日(月)
- 発表者の最終確定：【オーガナイザー → 年会企画委員会】
 - ・2011年5月31日(火)
 - ・【変更後の締切(約2週間延長)】2011年6月16日(木)
- 原稿提出期限：【オーガナイザー → 年会企画委員会】
 - ・当初締切：2011年6月30日(木) 23:59
 - ・【原稿提出の締切は延長いたしません】

(2) 企画申込方法

申込に当たっては(1)テーマ、(2)オーガナイザー名(所属)、(3)連絡先メールアドレスを明記して送ってください。

(3) 企画申込先

jsse-kadai@freeml.com

(4) 申込に当たっての留意事項

- ・オーガナイザー資格：会員でなければなりません。
- ・発表者(指定討論者含む)の確定：発表者を企画受付締切までに確定してください。発

表者未定の企画は受理されません。

なお、課題研究発表での登壇は1回となりますので、発表者を依頼される際にはご留意願います。

- ・筆頭発表者資格：筆頭発表者は会員、非会員を問いません。ただし、非会員による発表件数は、原則として全発表件数の半数を超えないものとします。やむを得ずに半数を超える場合は、企画受付締切までにその理由を申請用紙に添えて申し込んでください。非会員の発表件数が全発表件数の半数を超えた場合で理由書の添付されていない企画は受理されません。非会員の発表件数が全発表件数の半数を超えていて理由書が添えられている企画について受理するかどうかは、年会企画委員会で審議いたします。非会員による発表件数が企画受付締切時点で全発表件数の半数を超えておらずに受理された企画であっても、受理後にやむを得ない事情によって発表者の変更がなされた結果、非会員による発表件数が全発表件数の半数を超えた場合には受理は取り消されますのでご留意願います。

※ここで言う「会員」とは、学会事務局が入会申込書の受付を済ませていることを意味します。

9. インタラクティブセッションの申込

- ・発表申込と原稿締切：2011年6月30日（木）23：59
 - ・申し込みおよび原稿提出先：jsse-interactive@freeml.com
 - ・原稿の形式は、一般発表に準じます。年会論文集執筆にあたっての留意事項をお読み下さい。
- ※原稿を提出する際には、メールに、テーマ名、担当者名、概要、連絡先をお知らせ下さい。また、インターネット利用の有無、電源利用の有無、その他の希望についても明記してください。

10. 一般研究発表の申込

- ・発表申込と原稿提出期限：2011年6月30日（木）23：59

11. 年会企画委員会

委員長：山口悦司（神戸大学）

副委員長：加藤 浩（放送大学）、谷塚光典（信州大学）

幹事：松浦拓也（広島大学）

委員（五十音順）：青山和裕（愛知教育大学）、加藤久恵（兵庫教育大学）、清水克彦（東京理科大学）、大黒孝文（同志社女子大学）、茅野公穂（信州大学）、寺田光宏（岐阜聖徳学園大学）、寺野隆雄（東京工業大学）、東原貴志（上越教育大学）、二見尚之（湘南工科大学）、松寄昭雄（埼玉大学）、三崎 隆（信州大学）、森田裕介（早稲田大学）、吉川 厚（東京工業大学）、渡辺雄貴（首都大学東京）

担当理事：佐伯昭彦（鳴門教育大学）、高藤清美（筑波学院大学）

若手の会

8/23（火）の夜に、たまプラーザに集みましょう

昨年と同じく、年会の初日の夜に、若手同士のネットワークづくりを目的として、お互いの興味・関心や今後の展望を語るという会合を企画しました。

今年は、8/23（火）です。全国の科学教育関係者が集まる年に1度の機会を利用して、お互いの興味・関心や今後の展望を語り合しましょう。

年齢制限はございません。「若手」とは、あくまでも「自称の若手」です。「自分はまだまだ元気だ」「自分はバリバリ活躍するぞ」という方々が、この会合の対象者です。

学会の非会員の方も参加できます。年会に参加予定の方、どうぞご参加ください。

若手の会に参加したら、翌日からの年会在さらにエンジョイできるはず。多数のみなさまの参加をお待ちしています。

- 月 日：2011年8月23日（火）（年会の初日です）
- 時 間：18時開始～20時終了予定
- 場 所（予定）：たまプラーザ駅周辺（東急田園都市線）
- 会 費（予定）：7,000円
- 参加資格：制限はございません。自称「若手」であれば、どなたでも参加できます。
また、学会の非会員の方も参加できます。
- 参加申込：事前申込制です。なお、下記の点にご注意ください。
 - (1) 会場手配などの都合上、下記の申込期間以外の受付は、原則としていたしません。
 - (2) 申込後のキャンセルは、8月10日（水）までとします。
 - (3) 8月10日以降のキャンセルや当日欠席の場合、会費を請求させて頂く場合があります。
- 申込期間：2011年5月17日（火）～7月22日（金）
- 申込方法：下記の申込フォームに記入の上、katohi@hyogo-u.ac.jpまでお申し込みください。

-----（ここから）

【申込フォーム】

氏名：
氏名ふりがな：
所属：
メールアドレス：

申込先：katohi@hyogo-u.ac.jp

■ 第35回年会「若手の会」企画担当委員

青山和裕（愛知教育大学）kaoyama@aeuacc.aichi-edu.ac.jp
加藤久恵（兵庫教育大学）katohi@hyogo-u.ac.jp

2011年度学会賞候補者の募集

本学会の学会賞：学会賞（大塚賞）、学術賞、国際貢献賞、論文賞、奨励賞及び科学教育実践賞を下記により募集します。すべての賞は会員からの推薦に基づいて審査されますので、ご活躍の候補者について、多数の推薦をお願い致します。

1. 推薦期限

2011年（平成23年）5月23日（月）（必着）

2. 受賞資格

- (1) 学会賞（大塚賞）：科学教育に対する優れた業績や功績によって本学会の発展に寄与した本学会会員。
- (2) 学術賞：科学教育において先導的・開拓的な業績や功績を挙げ、本学会の発展に寄与した本学会会員。対象となる業績や功績は、賞の応募締切日から過去10年以内のものとする。
- (3) 国際貢献賞：科学教育の国際貢献・国際協力研究において特に顕著な業績や功績のあつ

- た本会会員。対象となる業績や功績は、賞の応募締切日から過去5年以内のものとする。
- (4) 論文賞：科学教育に関する優れた研究を行い、その成果を本学会の「科学教育研究」誌に発表した本会会員。対象となる論文は、賞の応募締切日から過去3年以内に発表されたものとする。
 - (5) 奨励賞：科学教育に関する優れた研究を行い、その成果を本学会の「科学教育研究」誌、年会論文集、研究会「研究報告」に発表した本会会員で、受理の時点で、原則として満38歳未満の者。対象となる論文等は、賞の応募締切日から過去2年以内に発表されたものとする。
 - (6) 科学教育実践賞：科学教育の実践研究において特に顕著な業績や功績のあった本会会員。また、該当する本会会員との連携により、科学教育に従事し、教育上顕著な業績や功績のあったグループ。対象となる業績や功績は、賞の応募締切日から過去3年以内のものとする。

3. 受賞件数

大塚賞、学術賞及び国際貢献賞の件数はとくに定めない。論文賞、奨励賞及び教育実践賞の件数は2件以内である。

4. 選考

本学会の学会賞選考委員会が候補者を選定し、理事会が決定する。

5. 賞

- (1) 本賞は賞状とする。
- (2) 賞の贈呈は、2011年度定時総会において行う。

6. 候補者の推薦

- (1) 候補者を推薦する者は、本学会の会員とする。大塚賞は他薦のみによるが、その他の賞は自薦も可とする。
- (2) 推薦者は、推薦の様式を学会ホームページ（「各種書式」からダウンロードできます）で入手の上、その様式にしたがって作成した推薦書を日本科学教育学会事務支局に提出する。
- (3) 奨励賞の推薦に当たり、論文などの著者が複数の場合は、受賞候補者は主著者となるため、他の全著者の承認が必要となる。この承認は、推薦者において予め得ておくものとする。

7. その他

- (1) 論文賞対象論文は、「科学教育研究」Vol. 32, No. 2以降に掲載の論文です。また、奨励賞の対象は、「科学教育研究」Vol. 33, No. 2以降、研究会「研究報告」Vol. 23, No. 4以降及び第33回・第34回年会論文集に掲載の論文が該当します。

研究会・支部だより

平成22年度第6回日本科学教育学会研究会（東海支部担当）のご案内

平成22年度第6回日本科学教育学会研究会（東海支部担当）を次の要領で開催いたしますので、ご参加のほどよろしくお願ひ申し上げます。

なおテーマに関する発表以外にも科学教育全般に関する研究発表も歓迎いたします。

- [テーマ] 新しい時代に向けた科学教育
[主催] 日本科学教育学会、日本科学教育学会東海支部
[共催] 愛知教育大学（予定）
[日時] 平成23年6月25日（土）10:00～16:00
[会場] 愛知教育大学演習棟（自然科学棟の隣） 3階 B1教室など

[対象] 会員、小学校・中学校・高等学校・大学の教員、学生、社会人
[参加費] 無料（会員の有無、発表の有無にかかわらずご参加いただけます。）

申込締め切り：平成 22 年 5 月 6 日（金）

申込時には、発表者名、所属、発表タイトル、連絡先、使用機器をご連絡ください。
発表原稿の締め切り：平成 22 年 5 月 27 日（金）

申込及び発表原稿送付先（連絡先）： 愛知教育大学数学教育講座 飯島康之
〒 448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1
Tel : 0566-26-2329
E-mail yijima@auecc.aichi-edu.ac.jp

学会員の皆様へ

3 月 19 日に開催を予定していた第 244 回理事会は、東日本大震災のために延期となりました。
したがって、第 244 回理事会報告は次号のレターに掲載の予定です。

所属の移動や転居などによる個人情報の変更届け出について

所属や住所などの個人情報の変更の届け出をお願いします。

今年も異動の時期を迎えました。ご所属やご住所等に変更が生じた場合には、学会事務支局宛に各自でご連絡をお願いします。

日本科学教育学会事務支局
〒 602-8048 京都市上京区下立売通小川東入
中西印刷株式会社 学会部内
TEL : 075-415-3661 FAX : 075-415-3662
<http://www.jsse.jp/>
E-Mail : jsse@nacos.com

編集理事会だより

平成 23 年 3 月 19 日（土）11 時 00 分～開催予定であった平成 22 年度第 2 回編集理事会は、
3 月 11 日に発生した東北関東大震災によって取りやめとなりメール審議に変更されました。
そのため、今回の編集理事会だよりは、メール審議事項にそってお知らせいたします。

まず、平成 22 年度第 1 回編集理事会議事録の確認と「科学教育研究」の編集状況の報告が
行われました。新規投稿論文（2011.1.26～2011.3.10）が 13 編（内訳：和文 11 編、英文 2 編）、
査読中論文（3 月 10 日現在）18 編（第 1 回査読中 5 編、再投稿待ち 4 編、第 2 回査読中 4 編、
査読員選定中 4 編、担当編集委員選定中 1 編）、掲載決定論文（3 月 10 日現在）12 編（研究論
文 12 編、(35-1 : 6 編、35-2 : 6 編)）

続いて、以下の 2 点についてのメール審議と報告が行われました。

(1) 第 36 巻第 2 号特集テーマ「科学才能教育 (Science Education for the Gifted)」の会
員への案内と告知文について、隅田編集部会長より提案がされました。メール審議を経て、3
月 28 日付け学会メールマガジンと学会ホームページによって、会員への案内を行いました。
原稿締め切りは平成 23 年 9 月 30 日、発行は平成 24 年 6 月です。

(2) 機関誌カラー印刷時の著者負担について、土田編集理事より経緯説明と今後の対応案が
提案され、メール審議での意見交換の後、了承されました。

(3) 第 35 巻第 2 号の特集について、垣花編集部会長より編集状況の報告がされました。平成
23 年 3 月 19 日現在で、掲載決定となった投稿論文は 7 編、招待論文は和文 3 編です。

(4) 論文執筆要項の部分修正について、土田編集理事より経緯説明と編集委員会メール審議経過の報告がされました。会員への部分修正の案内は、3月9日付学会メールマガジンと学会ホームページによって行いました。

次回、編集理事会は平成23年6月18日土曜日 11:00-14:00 (会場:コクヨ品川オフィス) の予定です。

「科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況 (平成23年3月10日現在)

	新規投稿論文数 (篇)				掲載決定論文数 (掲載号)		招待論文数 (掲載号)		掲載不可論文数	
	和文	英文	和文	英文	和文	英文	和文	英文	掲載不可	辞退
2010年 2月	5	1	24	2	1 (34-1) 4 (34-2)				2	
3月	4		15	2	7 (34-2)				8	1
4月	6		16	1	2 (34-2)		2		5	
5月	6		15	1	2 (34-2) 1 (34-3)		2		2	
6月	3		15	1	1 (34-3)				3	
7月	2	1	13	1	2 (34-3)	1 (34-3)			2	
8月	7		14	1	1 (34-3) 1 (34-4)				3	
9月	2		13	1	3 (34-4)				1	
10月	12		21		2 (34-4)				3	
11月	5		20		2 (35-1)				1	
12月	2		17		1 (35-1)				5	
2011年 1月	5		20		1 (35-1)				2	
2月	7	1	20	1	2 (35-1) 5 (35-2)				2	
3月	3	1	19	1	1 (35-2)				3	

広報委員会からのお知らせ

科学教育研究レター第202号をお送りいたします。お気づきの点などございましたら、学会webサイトにある「お問い合わせ」(webメール)をご利用のうえ、お知らせください。

担当理事：荻原 彰 (三重大)	久保田善彦 (上越教育大)
委員：隅田 学 (愛媛大)	土田 理 (鹿児島大) 藤岡達也 (上越教育大)
二見尚之 (湘南工科大)	美馬のゆり (はこだて未来大)
谷塚光典 (信州大)	渡辺政隆 (科学技術振興機構)
幹事：茅野公穂 (信州大)	福井智紀 (麻布大)

科学教育研究レター 編集・印刷

日本科学教育学会広報委員会

日本科学教育学会

Japan Society for Science Education

URL: <http://www.jsse.jp>

□事務局 愛知教育大学 理科教育講座 内

□事務支局 (入退会・会費・学会誌発送関連) TEL: 075-415-3661 FAX: 075-415-3662
E-mail: jsse@nacoss.com

中西印刷(株) 学会部 内 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

□編集事務局 (論文投稿・査読編集) TEL: 075-415-3155 FAX: 075-417-2050

E-mail: jsse-hen@nacoss.com

中西印刷(株) 学会部 内 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

郵便振替口座: 00170-6-85183 日本科学教育学会

銀行口座: みずほ銀行 京都中央支店 普通 2269008 日本科学教育学会